



理振協会会報

編集：(公社)日本理科教育振興協会 広報委員会
制作：株式会社 太洋堂



公益社団法人 日本理科教育振興協会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28
TEL: 03-3294-0715 FAX: 03-3294-0716
URL: <http://www.japse.or.jp>

CONTENTS

第48回定時総会のご報告

- 会長挨拶 (p2) ● 第48回定時総会 議事録 (p3)
- 令和元年度 事業計画 (p4) ● 来賓挨拶 (p6)
- 情報交換会のひとこま (p11)
- 功労者・永年勤続表彰 (p11)
- 講演 「火山噴火のメカニズムと日本の火山活動」
藤井敏嗣 氏 (p12)

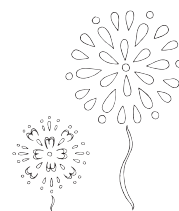
祝 全国理科学研究大会

- (一社)日本理科教育学会会長挨拶 (p13)
- 日本理化学協会会長挨拶 (p13)
- 全国中学校理科教育研究会会長挨拶 (p14)
- 全国小学校理科研究協議会会長挨拶 (p14)

今年度の理科予算について

- 令和元年度理科教育設備整備費等補助金進捗状況 (p15)

- 安全安心ドキュメントが揃いました (p15)
- 毒物劇物取扱資格試験受験準備講習会 開催 (p15)
- 令和元年度 理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会 実施報告 (p16)
- 令和元年度 都道府県と協働 理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会 実施報告 (p16)
- 理科教育設備整備費等補助金事業変更について (p17)
- 令和元年度 復興教育支援事業計画 (p18)
- 理科観察実験 指導力向上セミナー実施 (p19)
- 第8回 科学の甲子園大会報告 (p19)



第48回 定時総会

令和元年度 第48回 定時総会
公益社団法人 日本理科教育振興協会



第48回 定時総会を迎えて

大久保 会長

本日は、大変ご多忙の中、柴山文部科学大臣のご代理で丸山大臣官房審議官にご出席を賜り、また、小学校、中学校、高校、そして理科教育学会それぞれの会長ならびに関係者の方々、そして多くの会員各位にお集まりいただきましての総会となりました。まことにありがとうございます。



さて今、AI人材の必要性が広く叫ばれており、年間25万人、いや50万人必要だというようなお話が出ております。もちろんAIは日本にとって大事な分野であり、AI技術に通じた専門家の育成は必須でありましょう。しかしながら、人材はすぐに出るものではありません。お湯を掛ければ3分後に出来あがるというような簡単なことではないのであり、人材は、10年、20年掛けて育てるものなのです。もちろんAI技術にどこかで触れる機会を用意することは必要です。また統計といったデータ処理の基礎基本に通じることもとても重要です。ただ、もっとも重要なことは、現実の社会の中から生じるデータそのものに深い関心を示し、洞察しようとする意思と意欲そのものの涵養ではないでしょうか。

これがすなわち次の指導要領が大切にする主体的・対話的で深い学びなのだと考えます。教育に関わる者といたしましては「理科が全てだ」と言うつもりは全くございません。未来を担う子供たち、

小学校、中学校、高校と全ての教科をしっかりと身に付けて、大学でそして社会で活躍をしていただくことを期待するところであります。

ただ、理科がとりわけ貴重な教科であるのは、実際に世の中に存在する自然の事物を観察し、現象を再現する実験が自ら行え、目の前で見ることができる。「不思議だ」から「なぜだろう」と思い、そのことを考える。わざわざ「考えてくれ」と言わなくても、誰もが考えだそうとする場を提供してくれます。

そのような機会を小さいときからどれだけ与えられるか。私の小さいときには家のすぐ前に蛍が飛んでいたのですが、わずか数年で全くなくなりました。もちろん、今の世代の多くはその時代があったことすら想像できませんし、火も扱わず虫やいろいろな存在などを知らずに育ってきているのではないのでしょうか。だからこそ、火や薬品など本来は危険を伴うかもしれませんが、それを安全な環境で体験することができる場を提供する。これが理科室なのです。教育を支える環境構築をわれわれの世代が支援をし、維持をし、次世代につないでいく。理科教育に関わる者の責任は大変大きいものがあると感じております。

本日は、新しい時代にふさわしい令和最初の総会になります。来年には早くも学習指導要領が小学校から正式にスタートいたします。そこに向けての大事な一年間を考える機会としての総会、講演、多くの関係者との情報交換会。皆様と一緒に貴重な半日を過ごしていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

令和元年度第四十八回定時総会次第
一、開会の辞
一、会長挨拶
一、来賓祝辞
一、報告事項
一、審議事項
第一号議案 平成三十年度 収支決算の件
第二号議案 役員改選の件
一、表彰
功勞表彰
永年勤続・優秀社員表彰
一、閉会の辞
講演
演題「火山噴火のメカニズムと日本の火山活動」
講師 環境防災総合政策研究機構 副理事長
環境・防災研究所 所長 東京大学名誉教授
藤井 敏嗣氏

第48回 定時総会 議事録

1. 日 時 令和元年5月28日(火) 13時30分～15時15分
2. 場 所 東京ガーデンパレス (東京都文京区湯島1-7-5)
3. 出席者 正会員総数 1,130社 出席者数 771社 (うち委任状744社)
4. 理事及び監事の出席状況

出席理事	16名	大久保昇、樋口裕司、西松正文、小林啓介、岩瀬英人、中村友香、宮本信之、山谷安雄、林田篤志、阿部吉夫、大貫重良、白石 豊、鈴木盛一郎、稲垣成哲、中田弘明、石崎裕行
出席監事	2名	片山 保、森川将成
就任予定者	2名	西原克年、花田英樹

5. 議事の経過及び結果

13時30分、副会長 西松正文 氏 から開会宣言があった後、司会の副会長 中村友香 氏から定款 第17条の規定のとおり会員総数の過半数の出席により本総会が有効に成立している旨の報告があり、続いて定款第15条第1項の規定により、会長 大久保 昇 氏が議長となり、次の報告事項の後、二議案について逐次審議した。

❖報告事項

平成30年度 事業報告、令和元年度 事業計画及び事業予算について大久保議長が自ら報告を行った。

❖第一号議案 平成30年度 収支決算報告の件

議長の指名により常務理事 石崎裕行 氏が、配布資料に基づき、平成30年度収支決算報告(①貸借対照表、②正味財産増減計算書、③内訳表、④財務諸表に対する注記、⑤財産目録、⑥附属明細書)について説明し、議長から以上についての意見・質疑を求めたところ全員異議なく拍手をもって、これを可決、承認した。

次いで、監事 片山 保 氏から定款 第38条の規定により監査の結果、正確妥当であった旨の報告があり全員異議なく拍手をもって、これを可決、承認した。

❖第二号議案 役員改選の件

議長より、配布資料に基づき、役員候補の理事16名、監事候補2名の氏名を発表し、意見・質疑を求めた後、拍手をもって、全員異議なく可決、承認された。また、役員候補の理事16名監事候補2名ともに、自ら役員就任を承諾した。

続いて、議長から、以上で総会の全議事が修了したことが宣言され、議事録記名者として次の2氏を指名、承認を求めたところ全員異議なくこれを可決承認した。

小林 啓介 氏 (株式会社ヤガミ 代表取締役社長)
鈴木 盛一郎 氏 (株式会社鈴木盛商会 代表取締役社長)

以上をもって15時15分に全議事を終了し、副会長 小林啓介 氏が閉会を宣言し、全日程を終了した。

理事

	氏 名	所 属(勤務先)
留任	大久保 昇	(株)内田洋行 代表取締役社長
留任	中村 友香	(株)ナリカ 代表取締役社長
留任	西松 正文	ケニス(株) 代表取締役社長
留任	小林 啓介	(株)ヤガミ 代表取締役社長
留任	岩瀬 英人	(株)内田洋行 事業部長
留任	石崎 裕行	(公社)日本理科教育振興協会
留任	稲垣 成哲	(一社)日本理科教育学会 会長
留任	宮本 信之	日本理化学協会 会長
留任	林田 篤志	全国小学校理科研究協議会 会長
留任	阿部 吉夫	チバビジネス(株) 代表取締役社長
留任	大貫 重良	(有)ホークス 代表取締役社長
留任	白石 豊	(株)小笠原 代表取締役社長
留任	鈴木盛一郎	(株)鈴木盛商会 代表取締役社長
留任	中田 弘明	(株)雄飛堂 代表取締役社長

監事

	氏 名	所 属(勤務先)
留任	片山 保	(株)京都科学 代表取締役社長
留任	森川 将成	大和精機(株) 代表取締役社長

新任理事

	氏 名	所 属(勤務先)
新任	西原 克年	(株)島津理化 代表取締役社長
新任	花田 英樹	全国中学校理科教育研究会 会長

退任理事

	氏 名	所 属(勤務先)
退任	樋口 裕司	(株)島津理化 参与
退任	山谷 安雄	全国中学校理科教育研究会 前会長

令和元年度

事業計画

1 将来の答えの無い時代を生き抜く児童・生徒が、主体的・対話的で深い学びを通じ、社会の課題を発見し解決策を見出す資質・能力の育成を目指す学習指導要領について、2019年度は次年度の小学校を皮切りに順次始まる新学習指導要領に向けた重要な年であり、理科室内外での観察実験を通して、児童生徒の資質形成育成を目指していくこととする。

1-1 理科教育設備整備事業が、すべての都道府県・市区町村・学校法人において、格差がなく実施できるよう活動を推進する

- すべての都道府県・市区町村・学校法人に情報が伝達できるよう全力をあげる
- 個々の市区町村の理科教育設備整備事業の実態調査・把握を継続し、都道府県を通じて、理振事業が振るわない地域に対する理科教育充実に向けての支援活動を拡大する
- 理科教育設備整備事業の実施に向けて、事業申請・管理台帳作成等の実務セミナー、個別相談会を継続実施し、理振事業の手続きの理解を広める



理振台帳説明会



手続きの流れパンフ

1-2 新学習指導要領が円滑に実施できるよう準備に対する支援活動を積極的に行う

- 児童生徒が観察実験を実施しやすく「主体的・対話的で深い学び」を進める理科教育の環境を構築する活動を行う
- 新学習指導要領で新たに加わる指導方法や学習内容を踏まえ、新たに必要とされる観察実験機器の開発支援を行い、学校への早急な普及を図る
- 使えない・古い観察実験機器の廃棄促進を実施する

1-3 「理科の授業は理科室で」の実現を目指し、理科室および周辺環境の整備充実や観察実験をサポートする環境整備を促進する

- 理科室および周辺環境整備のため、理科室の実験台・収納戸棚・安全施設の充実や理科準備室の整備のため、文教施設全般についての仕組みを把握し、理科施設全般の向上を目指す
- 「観察・実験」で必須となる消耗品予算の確保と継続に向けた啓発活動の展開〔少額設備品も含む〕を推進する
- 理科実験支援員が十分に配置されるよう、拡充に向けて活動する

1-4 実験・観察増加に対応するための事業の充実

- 新学習指導要領に向けて、小学校向け「教師の為の理科実験セミナー」の開催及び教員研修の開催を実施・支援する
- 安全安心な実験・観察が行えるよう、セミナーや研修、情報提供等の啓発活動を実施する



愛知教育大



国立天文台



帝京平成大

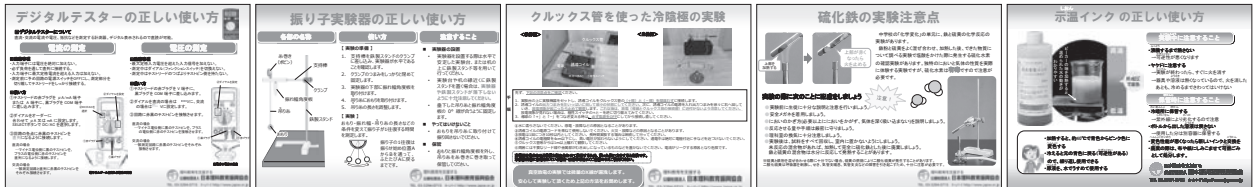
1-5 観察・実験の拡大強化を促進するための調査、分析活動の充実

- 小・中・高等学校の学校現場の現状及び課題を調査し、データ分析を更に充実、その結果を生かした活動を行う

2 教育用理科機器の安全・品質向上ならびに研究開発に関する事業の実施

- 教育用理科機器の安全性と品質向上のための基準やガイドライン策定の検討
- 安全・安心に実験機器が使用できるように、刊行物の作成、配布
- 諸外国における理科教育の調査・および資料の収集

安全安心ドキュメント



3 理科教育の継続した維持拡大ができるよう諸活動の推進

- 有識者、国会議員等に理科教育の意義を訴え将来に向けての世論喚起を図る
- (仮称) 科学技術教育振興法等、将来の抜本的な理科教育改善に向けた活動の継続

4 関係機関・諸団体との協力活動の推進

- 理科教育を推進する諸団体への活動支援事業の実施
- 関係機関・諸団体との相互協力の推進

5 その他理科教育の普及啓発に関する事業の実施

- 各種理科教育啓発事業への協力および参加

6 東日本大震災地区に対する理科教育支援活動を継続するとともに、防災、自然災害に対する関心、意識が向上し、知識として身に付くように実践で役に立つ学習を目指した活動も行う



被災地での理科実験授業

復興教育支援事業報告会

7 公益社団法人として協会の基盤確立を実施

- 公益事業の拡大と健全なる会計財務運営を図る
- 会員数・口数の拡充に努め、財務的基盤の確立を進める

8 会員・関係者に対する活動の拡大

- 毒物及び劇物取扱責任者資格試験の受験準備講習会の継続開催
- ホームページによる情報提供の充実と会員に対するメールサービスの拡充
- 教育用理科機器を製造する会員に対する有益な情報提示活動の継続

来賓のご挨拶

文部科学大臣 柴山 昌彦



代 読

文部科学省 大臣官房
審議官

丸山 洋司

公益社団法人日本理科教育振興協会第48回定時総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃から子供たちや教師が観察・実験で活用する優れた理科教育教材を開発し、理科教育の充実・発展に多大なる御尽力を頂いておりますことに、感謝申し上げます。

今、人工知能、ビッグデータ、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが劇的に変わるとされる「ソサエティ 5.0」時代の到来が予想されています。

このような中で、子供たちが予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが求められております。未知なるものへの好奇心や科学的思考力等を養う上で、理科教育の充実は、極めて重要な役割を果たすものです。

来年度から順次、全面実施となる新学習指導要領においても、これまで以上に観察・実験の質及びこれら通じた学習活動の充実を重要視しているところです。

新学習指導要領の内容を円滑に実施し、児童生徒の確かな学力を育むために、文部科学省としては、その趣旨の徹底や必要な設備の整備などの施策を講じてまいります。例えば、観察・実験にかかる理科設備の充実を図るために、理科教育設備整備費補助金の令和元年度の予算として、約17億円を計上しております。

今年は、元号が「平成」から「令和」へと変わる歴史的な年となりました。万葉集の歌から引用されたこの「令和」には、厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした国でありたいとの願いが込められています。

皆様方には、子供たち一人ひとりの花が開くよう、理科教育の重要性に鑑み、引き続き御支援・御協力くださいますよう、お願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と、本日御出席の皆様への御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



来賓のご挨拶

文部科学大臣政務官 中村 裕之



公益社団法人日本理科教育振興協会第48回定時総会が盛大に開催されましたこと、心よりお喜び申し上げます。

貴協会におかれては、子供たちや教師が観察・実験で活用する、優れた理科教育教材を研究・開発し、理科教育の振興に大きく貢献されていることに厚く御礼を申し上げます。

「ソサイエティ 5.0」時代の到来が予想され、科学技術の成果が社会全体の隅々にまで活用されるようになった今日、国民一人一人の科学リテラシーを涵養することが重要となっております。加えて、我が国の科学技術イノベーションの創出につながる、次代の科学技術を担う人材を育成するために、初等中等教育段階からの理科教育の充実、極めて重要な役割を果たすものです。

経済協力開発機構や国際教育到達度評価学会による国際調査の結果からは、我が国の理数分野における初等中等教育段階での学力は非常に高い水準にあります。この背景には、これまで理科教育において、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や、思考力・判断力・表現力等の育成を図ってきたことのほか、観察、実験や自然体験などに必要な時間の確保に取り組んできたことによるものと考えられます。

新時代に対応した高等学校教育の在り方について、「文系」「理系」の類型にかかわらず、文理両方をバランスよく学ぶことが課題となっており、今般中央教育審議会に諮問し、検討に着手されているところです。

新学習指導要領においても、これまで以上に観察・実験の質及びこれらを通じた学習活動の充実を重要視しているところです。文部科学省としましても、新学習指導要領の内容を円滑に実施し、児童生徒の確かな学力を育むために、その趣旨の徹底や理科教育等に必要な設備の確実な整備などの施策を講じてまいりますので、引き続き、皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と、本日御出席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。

衆議院議員 塩谷 立



本日は、理振協の定期総会ということで、本当におめでとうございます。

日頃から理科教育振興のために大変ご尽力をいただいていることに、心から厚く御礼申し上げる次第でございます。

第4次産業革命からソサイエティ 5.0を目指すときに、やはり教育用理科機器や教材がもっともっと新しく、色々な形で入ってくるが必要になります。文科省にもその話も進めておりますが、皆様方の協力を賜りながら進めていかなければならないと思っております。

理振協会の皆さま方には、これからAIやIotが台頭してくる時代にふさわしい理科機器の提供、そして技術革新の時代の学校の在り方を是非とも目指していただいて、我々も一緒になって将来の子どもたちのために頑張りたいと思います。

貴会のますますのご発展と皆さま方のこれからのご活躍、ご健勝をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

誠に本日は、おめでとうございます。

衆議院議員 中川 正春



今の国会で衆議院は通過をしまして、これから参議院の議論になるのですが、ICT、いわゆる学校教育における情報化推進法の目途ができてきました。このような問題については、議員立法で組み立てて起こしていくと、やはりタブレットは皆、持たなければいけない。紙だけではなくて電子教科書も教科書として法的に定義をしていこうということも含めてどんどん進んでいきます。しかし、これではどんどんバーチャルの世界に子供たちが行ってしまうということなので、もう片方は、やはり手で触れたり、温度を感じたり、においを嗅いだりして、実際に体験したことを、それこそ子供たちの中で実感として受け入れていくような環境を作っていかなければいけない。改めて何かいい工夫が無いかと。地方自治体レベルに頼んでいくこと以外にも、私たちの議員立法の工夫も含めて実態としてやっていかなければいけないと感じさせていただいて、そのような工夫もしながら皆さん、やっていこうではありませんか。

子供たちの夢、それから実体験としての感動、そのようなものを教育現場の中からどうぞ更に頑張って作り上げていただきたいと、このことをお願いして、感謝の気持ちを込めてご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

来賓のご挨拶

衆議院議員 遠藤 利明



皆様には、日頃から日本の教育のためご尽力いただいていることに改めて御礼申し上げます。
私は、文部科学副大臣のときに、学校現場を見に行く機会がありました。ちょうど、先生と子どもたちが理科の実験でカエルの解剖をやっていましたが、このような解剖の実験を通じて、子どもたちの生き物に対する思いに触れることができました。やはり理科教育は、ただ単にペーパーの上で取り組むのではなく、必要な機器があって、それを基にした実験などにより、自然とのかかわりが見えてくるという意味でも、大変効果が大きいものと感じております。

今から7～8年前、自民党の教育再生実行本部長を就任した時、グローバル人材の育成のための取組として大事なものは三つ。一つは英語教室、もう一つは理数教育、そしてICT教育である、このような提言をさせていただきました。日本がこれから成長していくためには、とりわけ理数教育が大事です。

今後とも、理数教育を通じて、しっかりとした人材育成がなされるよう取り組んでいきますが、改めて皆様のご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

衆議院議員 馳 浩



わが国の理科教育に対しまして大変ご尽力いただいておりますことに改めて御礼申し上げます。
周辺の国々と比べましても理科教育を踏まえた人材は、残念ながら人文系の方が多いためです。わが国のイノベーション、科学技術を支える人材としては十分ではないのではないかと、今、中教審でもメインで語られるような時代になりました。改めて皆さん方のサポートによる人材の養成にご尽力を賜りますように、私からもお願いを申し上げまして、今日の総会のご挨拶とさせていただきます。本当にいつもありがとうございます。

衆議院議員 古屋 圭司



私は、この理科教育の推進議連等を通じて長年応援をさせていただいております。
実は、私は、岐阜県恵那市が郷里なのですが、ここに恵那高校がありまして、スーパーサイエンスハイスクールをやったらとても評判がいいです。やはり理科教育は、きちんと自分の頭の中で論理的に組み立ててやっていく、この意味では答えが一つしかないということではなくて、そのような思考能力や子供たちの成長を促進するためにはすばらしいことだと思いますので、今後ともわれわれは、この理科教育の推進をしっかりと頑張っていきたいと思っております。

それは、日本の将来にも掛かっているのです。国益にも関することなのでありまして、様々な発想の人間がたくさんいて、創造力がしっかり無ければ駄目なのです。本席先生が言っていたではないですか、常に疑問を持ってやること、これが大切だと。ノーベル賞を取られたときのあのお話が私は本当に心に落ちました。これからもわれわれ立法府では、そのような考え方に立って理科教育の推進、ご支援をお約束申し上げてご挨拶に代えさせていただきます。おめでとうございます。

来賓のご挨拶

衆議院議員 義家 弘介



本日は、総会がこのように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

今、日本の教育を冷静に見渡しますと、一つの重大で危機的な状況、現状が指摘できます。それは、中国や韓国的高等教育に目を移すと、理系の進学者がおよそ7割、残りが文系の進学者で、とにかくこれから先の時代はテクノロジーの時代であり、加速度的に進化していく科学技術、テクノロジーの時代のために国策として様々な予算を投下し、初等・中等・高等教育とつながっている仕組みがございます。一方、わが国の進学状況を見ると、半分以上、いや、7割近くが文系に進学している状況であります。このまま科学技術、テクノロジー競争で世界が覇権争いをする中で日本が立ち行かなくなる状況になることに大変大きな危機感を感じています。では、どのようにすればいいのか。

党の教育再生実行本部で小学校の教科担任制を提言させていただきました。

幼い頃、小学生の頃に科学的リテラシー、理科教育への関心を持つ。関心を持つためには、プロの教師が、プロとして、プロの教え方をしていかなければなりません。この理科教育を支えてくださっている先生方を更に広げていくこと、これが何よりも求められます。

これからも理振協会の皆様方と力を合わせながら、そして、現場を守ってくださっている先生方と力を合わせながら理科教育発展のために尽力することをお約束し、私からの挨拶とさせていただきます。

衆議院議員 田野瀬 太道



本年の令和になって初めてのこの総会、そして情報交換会が多くの皆様方のご参加の下、今年も盛大に開催されておられますことに心からお祝いを申し上げます。

皆さんのおかげで、この日本の科学技術イノベーションの土台を作っていただいているわけがございます。それを受けてどんどん日本の科学技術イノベーション政策を進めて行かなければならないと思っております。

宇宙のジャンルで私が自分で作っている勉強会に民間の人工流れ星を作る会社の女性社長を講師としてお越しいただきました。来年、オリンピック・パラリンピックが東京でございます。その開会式がちょうど夜ですから、人工流れ星をたくさん流せないかなと思っており、「夢のあることだからやりたい」と、東京都と組織委員会に働きかけているのです。

前回から約60年経ち、「日本の科学技術力も本当に高くなったな」ということを目に見える形でできたら夢があるのではないかなと、そのような感じでやっております。本当になるかならないかは分かりませんが、このことを覚えておいていただけたら大変有り難いと思っております。

しっかりと日本の科学技術イノベーションを皆様と共に推し進めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

参議院議員 二之湯 智



本日は理科教育振興協会の総会、誠におめでとうございます。

参議院総務委員会で放送法の一部改正の法案の審議がございました。これは、来年の東京オリパラを控えてNHKがインターネットで配信して、スマホやタブレットあるいはパソコンに映像が配信される、このようなことでございますけれども、そのようなことから新しい時代に入ってくるのではないかと思います。

日本は、そのような面ではかなり遅れているということで、IT人材の育成は国家的な課題になってきているわけございまして、そのような皆さん方のお仕事を通じて数学や理科に興味のある方をどんどん人材育成していかなければならないと思っております。

さらにまた、日本は非常に自然災害が多い国でございますから、そのような面での人材もこれからは育成していかなければならない。

このようなことで、本当に私たち政治家の責任は重いわけでございます。皆さん方とお互いに情報を交換しながら日本の理科教育振興のために、そして新しい時代の人材を育成するために頑張っていきたいと思っております。これからもよろしくご指導くださいますようお願いいたします。一言お祝いのご挨拶といたします。おめでとうございます。

来賓のご挨拶

参議院議員 大島 九州男



理振協会の皆様には、普段から我が国の理科教育普及充実に、本当に真摯にお取り組みいただき、活動されておられることに感謝申し上げます。

本日は令和元年度の定時総会開催、お慶び申し上げます。

以前より、私は、民間教育という概念を変えましょうと文部科学省に言ってきました。それは何かといいますと、私は塾の先生をしていましたが、民間教育というと、塾などを連想されますが、これからの教育は、正に企業や文科省など、いろいろなところが一体となって子供たちの問題解決能力を創造力を持ってアートのようにしっかりと組み立てていく、この協調性と創造力を学んで行く、そのような教育を企業と一緒にやっていくことが民間教育だと概念を変えようと発信しております。10年前に私が「論理的思考をしっかりとこれからは打ち出していこう」と言ってプログラミング教育を提唱しました。論理的段取り施行が10年掛かってやっと形になりました。

時代が大きく変わる中に私も政界に身を置く1人として、理科教育を軸として、我が国の教育をより一層充実させて、国力の礎となるように尽力させていただくことをお約束して私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

参議院議員 石井 苗子



今日のご盛会おめでとうございます。

私は参議院議員をやっておりますけれども、現在も心療内科に非常勤で勤めておりまして、子供のカウンセリングをしております。やはり発達という意味において、何が一番子供の心の健康に適しているかという、好きなことをやらせることが子供の脳の発達に一番なのだそうです。

今、心療内科の子供たちもスマホでゲームばかりやっているの、親御さんが「公園に行って少し体を動かしてらっしゃい」と言うと、公園でスマホゲームをやっている。「そういう意味じゃなくて体を動かせ」と言われても、何をしたいのか分からないということらしいのです。

私は、アメリカの大学に行ったときに、顕微鏡を左目で見ながら、右目で見た物の細胞を描くことについて、教授に「どこで教わった」と言われて「小学校です」と言うと、「恵まれた子だな」と非常に驚かれました。やはりそこに道具があると子供はクリエイティビティーを発揮することができるのです。

好きなことをやらせて、好きなことをやるために道具をそろえるのが大人の役目だそうです。理科教育は、その子に好きなことをやらせる場を与えていただきたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

総会当日には、下村博文 先生、山谷えり子 先生より祝電をいただいております。

情報交換会のひとこま



第48回定時総会 **功労者・永年勤続優秀社員表彰**

長きにわたり理振協会の発展に貢献された、樋口裕司前副会長を表彰させていただきました。
令和元年度第48回永年勤続優秀社員表彰者は、右表のとおり8社15名となりました。

功労表彰

氏名	備考
樋口 裕司	副会長(平成19年就任~平成31年)、 理事(平成15年就任~平成18年)

永年勤続優秀社員表彰

氏名	所属企業
阿部 幹雄	株式会社 大村学習社
川端 享	株式会社 ナリカ
田中 完治	株式会社 ナリカ
水谷 暖	株式会社 ナリカ
山崎 章司	株式会社 島津理化
家永 直人	株式会社 島津理化
西本 和久	株式会社 島津理化
猪飼 愛	株式会社 ヤガミ
鶴見 隆	ケニス 株式会社
井上 るみ	ケニス 株式会社
片野 衣里子	ケニス 株式会社
工藤 京	株式会社 内田洋行
劉 中義	株式会社 内田洋行
中村 寛人	株式会社 京都科学
松井 有紀	株式会社 島津製作所





講演

「火山噴火のメカニズムと日本の火山活動」

環境防災総合政策研究機構副理事長
環境・防災研究所 所長 藤井 敏嗣 氏
[東京大学名誉教授]

講演内容

たいへん詳しい資料をご用意いただき、火山噴火の種類や過去からの噴火事例をご紹介いただきました。火山噴火がもたらした大きな被害の状況を見て、自然エネルギーのとてつもない破壊力を改めて知り、日本国においては、どこにいても火山噴火の危険があり、自然災害を考えるとときには忘れてはならないと感じました。テレビのニュースで見る程度であった火山噴火について聴取者全員が藤井先生のお話に集中し、引き込まれ、正しく恐れることを知り、たいへん感銘しました。

略 歴

- 1984年 東京大学地震研究所 助教授
- 1989年 東京大学地震研究所 教授
- 1997年 東京大学地震研究所 所長
- 2003年 気象庁火山噴火予知連絡会会長
- 2004年 東京大学理事、副学長
- 2006年 日本火山学会会長
- 2010年 東京大学名誉教授
- 2010年 NPO 法人環境防災総合政策研究機構理事、
環境・防災研究所所長
- 2012年 北陸先端科学技術大学院大学監事
- 2014年 山梨県富士山科学研究所所長
- 2016年 NPO 法人環境防災総合政策研究機構副理事長

受賞歴

- 2008年 防災功労者防災担当大臣表彰
- 2010年 防災功労者内閣総理大臣表彰
- 2014年 日本地球惑星科学連合フェロー
- 2014年 日本火山学会賞
- 2016年 日本火山学会論文賞専門分野 岩石学 マグマ学

著 書

- 『正しく恐れよ！富士山大噴火』 徳間書店 2015
- 『火山の大研究』 ポプラ社 2012
- 『地震・津波と火山の事典』 丸善 2008





全国理科学研究大会

一般社団法人 日本理科教育学会 第69回全国大会（静岡大会）によせて



一般社団法人 日本理科教育学会
会長 稲垣 成哲

日本理科教育学会第69回全国大会（静岡大会）
9月22日（日）～23日（月）
静岡大学静岡キャンパス

本年度は全国大会（静岡大会）を静岡大学静岡キャンパスで開催いたします。実行委員長・熊野善介教授のもと、例年より1ヶ月遅い、9月22日（日）から9月23日（月）の2日間にわたり、理科教育に関する理論的・実践的な研究発表がなされる予定です。記念講演は、全米科学教師教育学会前会長のGillian Roehrig博士（ミネソタ大学STEMセンター教授）に依頼し、「アメリカの科学教育改革の理論と実践：STEM教育改革」と題したご講演をいただきます。また、2つのシンポジウムでは、「Society 5.0と新学習指導要領」「アジア諸国におけるSociety 5.0に応える科学教育改革」のテーマが設定されており、私たちの喫緊の課題とともに、その世界的な研究動向が議論できるように計画されています。このような国際性は、開催校静岡大学における理科教育研究の特色でもあります。

最後になりましたが、公益社団法人日本理科教育振興協会による本全国大会への多大で力強いご支援に対して、会員を代表して厚く御礼申し上げます。

令和元年度全国理科教育大会 第90回日本理化学協会総会 高知大会によせて



日本理化学協会 会長
宮本 信之

令和元年度全国理科教育大会・
第90回日本理化学協会総会（高知大会）
8月7日（水）～9日（金）
高知県立高知追手前高等学校
高知県立大学及び高知工科大学永国寺キャンパス

我が国の人口減や科学技術人材の不足などを憂い、科学技術イノベーションの危機を指摘する声は科学界だけでなく、広く社会に広まりつつあります。高校理科教育に携わる我々は、すべての人に求められる力、たとえば情報を正しく読み解く力、科学的思考力と活用力、価値を見つけ生み出す力をどの生徒にも付け、さらに技術革新力、社会的課題と科学をつなげる力を備えた、新時代を牽引する人材を育成する必要があります。

高知大会ではこのような状況の中、『「次世代を拓く理科教育」－主体的・対話的で深い学びの実現－』を主題として関係者が一堂に会し、研究発表や研究協議を通じて我が国と世界の将来を支え、新時代を担う世代である生徒たちに如何に科学的な素養と時代を切り開く力をつけていくか、探求していきます。今年度も参加者全員が活発に議論する時間を設け、対話を通して研修を深めてまいります。本大会には毎年、公益社団法人日本理科教育振興協会に多大なるご支援とご協力をいただいておりますこと、深く感謝を申し上げます。



全国理科学研究大会

自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育 第66回全国中学校理科教育研究会 秋田大会の開催



全国中学校理科教育研究会 会長

花田 英樹

第66回全国中学校理科教育研究会
第46回東北理科教育研究協議会
第47回秋田県理科教育研究大会
8月8日(木)～9日(金)
ホテルメトロポリタン秋田／アトリオン／アルヴェ (秋田市)

全国中学校理科教育研究会は、「理科の見方・考え方を働かせることを通して資質・能力を育成し、豊かな未来を切り拓く理科教育」を研究主題として活動を進めています。研究成果を会員相互に共有することを目的に毎年8月には全国大会を開催し、5つの分科会（教育課程、学習指導、観察／実験、環境教育、学習評価）において合計25の研究成果の発表を行っています。今年度は、8月8日(木)～9日(金)にホテルメトロポリタン秋田(秋田市)等を会場に「自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育」を大会主題として第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会を開催いたします。新学習指導要領の全面実施が目前に迫る今、その趣旨を確実に受け止め、適切な実践へと結び付けていくための重要な大会となりますので、その成果が大きなものとなることを期待しております。

結びになりますが、公益社団法人日本理科教育振興協会会長 大久保 昇 様をはじめ、協会の皆様方、関係の皆様方の多くのご支援に感謝申し上げます。

「理科の見方・考え方を意識的に働かせ、 自然を追究する理科学習」 ～問題を科学的に解決するための資質・ 能力の育成を目指して～



全国小学校理科研究協議会 会長

森内 昌也

第52回 全国小学校理科研究協議会研究大会(岐阜大会)
11月7日(木)～8日(金)
じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)ほか

令和元年度の全国小学校理科研究協議会の大会は、11月7日(木)、8日(金)の2日間、岐阜県岐阜市・瑞穂市で開催いたします。岐阜県としては、初めての開催となります。大会1日目は、じゅうろくプラザにおいて、理事会・総会・研究全体会・講演会を行います。講演会では、スーパーカミオカンデ実験代表者である東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設長 中畑 雅行先生にご講演いただきます。岐阜県が世界に誇るスーパーカミオカンデに関する中畑 雅行先生のご講演は、私達に貴重なご示唆をいただけるものと思います。大会2日目は、岐阜市立長良西小学校、岐阜市立柳津小学校、瑞穂市立牛牧小学校の3つの学校を会場に、公開授業・分科会・指導講話を行います。令和2年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、岐阜県を中心に各都道府県の研究実践が提案されます。

全小理事務局としては、全小理大会において初めての開催となる岐阜大会を成功させるため、岐阜大会事務局と連携し準備を進めております。

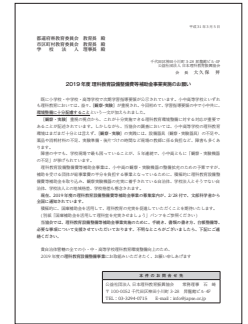
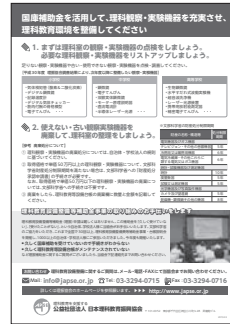
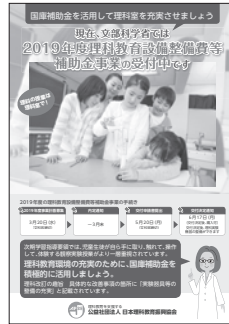
終わりに、公益社団法人日本理科教育振興協会会長 大久保 昇様をはじめ、協会の皆様、関係機関の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今年度も変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

令和元年度 理科教育設備整備費等補助金進捗状況

1 令和元年度理振事業への対応

文部科学省より2019年度理振事業の募集案内が2月28日付で通知されました。

理振協会では、全国都道府県市区町村・学校法人に対して理振事業参画促進のパンフレット及び案内DMをいたしました。



2 交付決定

本年度の理科教育設備整備費等補助金の交付決定は、6月度に通知されました。

3月の募集に対して、今年度予算を上回る応募があり、今回の交付決定で、ほぼ今年度の予算は消化されたものと思われます。

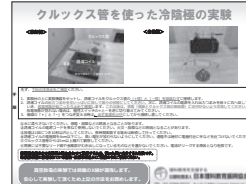
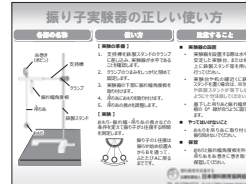
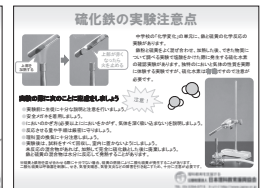
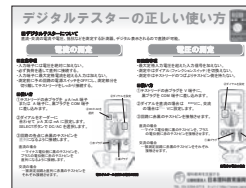
※当初予算 17.2億円

安全安心ドキュメントが揃いました

観察・実験において、安全安心に器材を使用するため、正しい使い方を表示したドキュメントです。

新しく5種作成いたしました。ホームページに、これまでに作成したドキュメントとともに掲載しております。ぜひご活用ください。

- クルックス管を使った冷陰極の実験
- デジタルテスターの正しい使い方
- 示温インクの正しい使い方
- 振り子実験器の正しい使い方
- 硫化鉄の実験注意点



毒物劇物取扱資格試験受験準備講習会を開催いたします

本年も表記講習会を開催致します。当講習会を受講された方の合格率はたいへん高く、毎年多数の受講をいただいております。ベテランの講師3名による、試験合格を目指した過去問研究等の実践向きで効率の良い指導をいただいております。

日 時：令和元年8月2日(金)～
7日(水)の6日間
場 所：大妻女子大学

令和元年度 理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会 実施報告

実施日	場 所	講 師	参加者
4月24日(水)	東 京 中央大学駿河台記念館	文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 氏	学校法人:47 教育委員会:16 計63名
5月8日(水)	大 阪 OMMビル	文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 氏	学校法人:25 教育委員会:12 計37名
5月10日(金)	福 岡 福岡国際会議場	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 野内 頼一 氏	学校法人:5 教育委員会:6 計11名
5月20日(月)	札 幌 ポールスター札幌	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 遠山 一郎 氏	学校法人:4 教育委員会:5 計10名

説明会は、平成28年から本年までのべ44会場で実施いたしました。

これまで累計で、学校法人859校、都道府県市区町村自治体 432自治体、累計参加者2,193名が受講されました。



4月24日(水) 東京会場



5月8日(水) 大阪会場

令和元年度 都道府県と協働 理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会 実施報告

実施日	場 所	講 師	参加者
6月3日(月)	高知市教育委員会との 協働 於:高知市たかじょう 庁舎	文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 先生	小学校、義務 教育学校の理 科主任・事務 職員等75名

理振協会主催の説明会と合わせて今回で40回目、参加自治体数 392自治体、2072名の方に受講していただきました。



都道府県教育委員会に、管轄の市町村を対象にして、理科教育設備整備事業説明会を開催していただけるように、働きかけください。

講師は理振協会から伺わせていただきます。かかる費用はございません。

理振協会では、全国自治体の理科教育設備整備費等補助金事業の実施状況について調査をしてきております。調査結果をみると、都道府県の教育委員会に管轄の市町村が国庫補助を活用できるよう講習を行う必要を感じています。

全国すべての自治体が、国庫補助を取り込めるように、理振協会では[理科教育設備整備費等補助金事業・台帳説明会]を都道府県主催で開催していただき、当事業の普及に尽力したいと考えています。

理科教育設備整備費等補助金事業 変更について

文部科学省より、令和元年6月18日に新しい学習指導要領に基づく理振事業についてパブリックコメント募集が告知されました。

1 設備品目の優先順位付け

従来のランクA B CのなかでAを最重点設備品と指定する。

- A すべての学校が最低限整備すべき設備
- B 児童生徒等の実態等に応じて選択して整備すべき設備(学習指導要領に沿った指導を行う観点)
- C 児童生徒等の実態等に必要に応じて選択して整備すべき設備(より一層充実させる観点)

2 単価・性能の差が大きい理科教育設備整備の取り扱い方…機器を選定するときのスペック・機能等の目安が提示されました。

小学校 天体望遠鏡…微動装置・太陽投影板は不要
提示用顕微鏡…大型モニターと400倍まで

中学校 提示用双眼実体顕微鏡…40倍までで十分
天体望遠鏡…屈折式・赤道儀式で微動装置・追尾装置は不要

機能によっては価格が大きく幅のある機器について、標準的な仕様が提示されました。

3 設備品目…新しい単元に合わせて新規品目が多数登場しています。

小学校 主だったもの

[新規] 音の学習用具、水のしみこみ方実験セット、電気の利用プログラミング学習セット
顕微鏡が「生物顕微鏡」と「双眼実体顕微鏡」とに分けて表示されました。

中学校 主だったもの

[新規] 赤外線サーモグラフィ、月や金星の満ち欠け説明器、レーザー光源、元素周期表、
簡易ドラフトチャンバー

その他

補助対象外とする品目が明確に提示されました。

- ・デジタル教科書
- ・ICT関連機器【モニター、タブレット等端末、プロジェクター、PC】
- ・PC共通ソフト【ワープロ・表計算・プレゼンなどのマネジメント系ソフト】

4 台帳について…下記の目標が提示されました。具体的な内容については、現在検討中です。

- ・理振台帳の記載事項の簡素化・理振台帳を備品台帳と統合して管理を目指す方法を検討
- ・文部科学省ホームページに公開して誰もが使用できる・文部科学省が整備状況を把握する

令和元年度 復興教育支援事業計画

1 令和元年度事業計画

事業実施以来、9年目となります。当事業は、現行の学習指導要領の本年まで実施させていただきます。

実施地区：釜石市、陸前高田市、大船渡市、石巻市、南相馬市、いわき市

実施時期：令和元年9月～12月度

実施授業：教科書掲載の観察実験授業を実施

スケジュール・・・4月・7月 実施委員会開催
 5月～6月 実施地区から募集
 7月～8月 実施校と授業内容・日時の打ち合わせ
 9月～12月 実施
 令和2年2月15日(土) 報告会開催

平成23年から実施して、今までに 小学校 **199校 629時間 12,710名**の児童たちと一緒に観察・実験授業をいたしました。

2 平成30年度復興教育支援事業報告会実施報告

実施日・場所：平成31年2月16日(土) 午後2時～午後5時
 (株)内田洋行 新川 本社ビル 協創広場 CANVAS 2階

内容：・実施企業の理科実験授業報告
 ・実施委員からのアドバイス
 ・実施地区、学校からの現地教育事情について

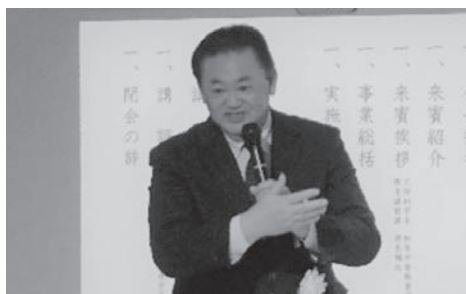
参加者：総勢80名

来賓：文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐 齋喜 徳史 様
 文部科学省初等中等教育局主任視学官 清原 洋一 先生
 文部科学省初等中等教育局教科調査官 鳴川 哲也 先生
 岩手県教育委員会 主任指導主事 三浦 秀行 先生
 宮城県教育庁義務教育課課長補佐 山尾 健一 様
 福島県教育庁 指導主事 武藤 利徳 先生

講師：いわき市教育長 吉田 尚 様
 いわき市教育委員会 学校教育推進室長 渡邊 賢晃 様
 全小理役員・会員 全中理役員・会員 日本理化学協会役員
 支援事業指導委員4名(津幡先生、林先生、船尾先生、永田先生)



文部科学省初等中等教育局教育課程課
 課長補佐 齋喜 徳史 様



いわき市教育長
 吉田 尚 様

- ・実験授業を実施した幹事企業5社の報告に対して、津幡先生、林先生、船尾先生、永田先生からの授業力向上へのコメントをいただきました。続いて、全体の講評を文部科学省初等中等教育局主任視学官 清原 洋一様よりいただきました。
- ・いわき市教育長吉田 尚様より、いわき市の復興教育についての講演をいただきました。震災時のいわき市の状況、その後の復興の状況のご説明を頂きました。多岐にわたる復興へ向けての事業実践をご紹介いただき、聴取者全員がその素晴らしいお取組みに感激いたしました。改めて復興を目指すには多くの困難があることを認識し、継続して、被災地支援の必要性が感じられました。

理科観察実験指導力向上セミナー実施

本年も昨年に続き、小学校教師向けの指導力向上セミナーを実施します。

【東京】

講習内容	安全で楽しく、理科実験ができるように、小学校理科実験授業で起こりがちな事故を未然に防ぐ指導方法や、新学習指導要領に対応した単元も研修します。		
開催日	2019年8月21日（水）	会場	帝京平成大学 中野キャンパス
講師	帝京平成大学 教授 船尾 聖 帝京平成大学 教授 永田 学		

【東京】

講習内容	国立天文台・天文情報センターにて、科学教育・普及に携わるスタッフから指導が受けられます。		
開催日	2019年7月31日（水）	会場	国立天文台
講師	国立天文台・天文情報センター 石川 直美 小池 明夫		

【東海】

講習内容	愛知教育大学で理科の各分野を専門として研究する、経験豊富な講師からご指導いただき、毎年人気のセミナーです。新学習指導要領に対応した単元も研修します。		
開催日	2019年8月19日（月）	会場	国立大学法人 愛知教育大学 自然科学棟
講師	愛知教育大学 教授 岩山 勉 愛知教育大学 准教授 長 昌史 愛知教育大学 教授 加藤 淳太郎 愛知教育大学 教授 戸田 茂		

参加者募集中です。参加申し込みは、下記ホームページから詳細をご覧ください。

<https://www.jpse.or.jp/event/8456>

第8回 科学の甲子園 大会報告

日時：平成31年3月15日（金）～17日（日）
場所：ソニックシティ、さいたま市記念総合体育館
主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構

今回8回目の全国大会でした。参加校・生徒数は709校、総勢9,075名と、大盛況にて終了しました。

理振協会としては、総合成績第5位に【日本理科教育振興協会賞】を提供させていただき、大久保会長が授与いたしました。

他、内田洋行、島津理化、ケニス、ヤガミ、ナリカもそれぞれ企業冠賞を授与させていただきました。

結果 総合成績 第1位 愛知県：海陽中等教育学校
第2位 神奈川県：栄光学園高等学校
第3位 滋賀県：滋賀県立膳所高等学校
第4位 岐阜県：岐阜県立岐阜高等学校
第5位 長崎県：青雲高等学校

◇各社表彰校

競技・成績	基準	学校名
筆記競技 第2位 内田洋行賞	筆記競技の第2位	宮崎県立宮崎西高等学校
実技競技① 第2位 ケニス賞	実技競技①の第2位	青森県立弘前高等学校
実技競技② 第2位 ヤガミ賞	実技競技②の第2位	東京都立武蔵高等学校
実技競技③ 第1位 SHIMADZU賞	実技競技③の最高得点	岐阜県立岐阜高等学校
実技競技③ 第2位 ナリカ賞	実技競技③の第2位	栄光学園高等学校（神奈川県）



総合成績5位
長崎代表 青雲高等学校へ表彰状授与

UCHIDA

令和2年度 新教科書掲載・対応品 指導書付

ウチダの 理科プログラミング教材

プログラミングを活用して
省エネを学ぶ。

プログラミングで制御



新学習

ウチダのプログラミングスイッチで、
実験ができます。



(通電を制御するプログラム例)

```

ずっと
もし 人を感知した なら
  スイッチを入れる
  10 秒待つ
でなければ
  スイッチを切る
  1 秒待つ
  
```

通電のON/OFFをプログラムで制御するとさらに省エネになることを学習する。

Scratch + プログラミングスイッチ



[ウチダ] プログラミングスイッチ Scratch用 V1 (2センサー)

型番	型式	仕様	価格
8-117-3151	DP-S1	基本セット	¥14,900 (税抜き)
8-117-3159		電気の利用セット	¥33,200 (税抜き)

[ウチダ] プログラミングスイッチ Scratch用 V2 (3センサー)

型番	型式	仕様	価格
New 8-177-3153		基本セット	¥19,800 (税抜き)
New 8-177-3154	DP-S2	電気の利用セット	¥38,100 (税抜き)

※実験機器の詳しい仕様は理科/理化学機器カタログ2019-20をご覧ください。

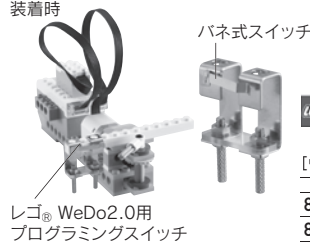
MESH™ + プログラミングスイッチ

Make, Experience, Share

[ウチダ] プログラミングスイッチ MESH™用

型番	型式	仕様	価格
8-117-3142		ブロック2個付	¥23,000 (税抜き)
8-117-3146	DP-M	ブロック3個付	¥29,713 (税抜き)
8-117-3149		電気の利用セット	¥41,300 (税抜き)

装着時



令和2年度 新教科書掲載!!



LEGO WeDo 2.0 + プログラミングスイッチ

[ウチダ] プログラミングスイッチ WeDo 2.0用

型番	型式	仕様	価格
8-117-3162		基本セット	¥26,500 (税抜き)
8-117-3169	DP-L	電気の利用セット	¥44,800 (税抜き)



授業ですぐ使える圧倒的な
商品数が揃っています!

内田洋行

www.uchida.co.jp/education

東日本営業部
〒135-0016
東京都江東区東陽2-3-25
☎03(5634)6280

北海道営業部
〒060-0031
札幌市中央区北1条東4-1-1
☎011(214)8630

西日本営業部
〒540-8520
大阪市中央区泉町2-2-2
☎06(6920)2480

九州第1営業部
〒810-0041
福岡市中央区大名2-9-27
☎092(735)6240